

令和7年度第3回岡山市協働推進委員会次第

日時 令和7年11月18日(火)

14:00～16:00

場所 ほっとプラザ大供5階
軽スポーツ室兼会議室

1 開会

2 議事

(1) 第3次岡山市協働推進計画の素案について(資料1・2)

(2) 第10回おかやま協働のまちづくり賞大賞・入賞取組の決定

- ・審査について(資料3)
- ・インターネット投票結果(資料4)
- ・おかやま協働のまちづくり賞の実施経過(資料5)
- ・おかやま協働のまちづくり賞の応募取組紹介(資料6)
- ・おかやま協働のまちづくり賞の質問・回答票(資料7)

3 その他

(1) 市民協働フォーラム(12月13日)

(2) 審議日程

1月下旬頃 協働推進事業審査
第3次岡山市協働推進計画案について

3月下旬頃 第11回おかやま協働のまちづくり賞テーマ
及び協働推進事業再審査

4 閉会

岡山市協働推進委員会委員(令和7年8月1日現在)

No.	条例上の 委員構成	分 野	所属団体等	肩 書	氏名
1	住民自治組織 に属する者	町内会	岡山市連合町内会	常任理事	小野 大作
2	NPO法人その 他の市民活動 団体に属する 者	外国人	学校法人アジアの風 岡山外語学院	理事長	片山 浩子
3		NPO法人	NPO法人チャリティーサンタ	理事	河津 泉
4		地域福祉団 体	社会福祉法人 岡山市社会福祉協議会	主事	黒住 みのり
5	事業者	経済団体	岡山商工会議所	事業推進部担当部長	山形 章弘
6		ESD活動に取 り組む企業	公益社団法人 岡山東法人会	副会長	綾野 富夫
7		報道機関	(株)山陽新聞社	論説委員	玉川 貢広
8		金融機関	(株)日本政策金融公庫 岡山支店	国民生活事業統轄	神田 敦弘
9	学校関係者	大学	山陽学園大学	地域マネジメント学部 地域マネジメント学科 教授	神田 將志
10		学校	岡山市立岡山中央中学校	校長	横田 さなえ
11		大学生	岡山大学	大学生	大前 凧乃
12	その他市長が 適当と認める者	行政	市民協働局	局長	福田 広志
13		公民館	公民館振興室	副主査	塩瀬 香織
14		公募			神谷 雅雄

【計画期間】 素案P2

- 令和8年度から12年度の5年間。ただし、社会情勢や進捗状況などを踏まえ、必要に応じて見直しを行う。

【第2次協働推進計画における課題】 素案P16

- **担い手不足への対策**・・・若者や企業等が地域活動へ参加しやすい環境づくりを進める必要がある。
- **多様な主体のつながりの創出**・・・行政、住民、NPO、企業等が地域課題を共有し、解決に向けた取組を行う必要がある。
- **情報発信**・・・協働した取り組みについて市民の興味や関心を引くコンテンツやサービスの充実を図る必要がある。

【踏まえるべき視点】 素案P16,P17

- SDGs目標17（パートナーシップで目標を達成しよう）の達成に協働は不可欠
- 地域全体でESD推進の取り組みを進めていく必要がある
- 協働のまちづくり条例第4条に基づく責任ある協働の推進

【特に力を入れる取組案】

🔗 新しい担い手の発掘・育成の継続的アプローチ 素案P20

- （新）多世代の市民と企業等が交流できる場を創出し、各視点で地域課題を発見・解決する取り組みを促進する。
- （拡）若者や企業等が地域づくりに主体的に関わる意識を実感できるよう、体験や交流の機会を取り入れた仕組みを整備する。（若者：ボランティアの体験講座、企業等：災害ボランティアネットワークへの参加促進）

🔗 コーディネート力の強化 素案P22,P23

- （拡）多様な意見を調整し地域の社会課題に対応するため、職員のコーディネート力を強化する。

🔗 情報発信の充実 素案P24

- （拡）市民の興味や関心を引くコンテンツを充実させ、**新たなSNSの活用**により、地域活動への参加を促す。

第3次岡山市協働推進計画（素案）概要

【第3次岡山市協働推進計画 体系図】

素案P17

【目的】

豊かで活力ある持続可能な地域社会を実現します。
多様な主体が協働して地域の社会課題解決の取組を行い、

素案P18

【基本方針 1】

協働の主体となる新たな担い手を育てるとともに、その活動を支援します

市民意識調査

【成果指標】・地域への市民の参加割合 R7 : 45.5% → R12 : 49.9%
・若者(20歳代以下)の参加割合 R7 : 25.3% → R12 : 29.3%

素案P21

【基本方針 2】

活動団体の取組を活性化しつつ、多様な主体の参画を促進し、つながりの場を広げます

【成果指標】・市民協働推進事業の目標達成 R7 : 80% → R12 : 100%
・E S D・市民協働推進センターの相談件数 R7 : 124件 → R12 : 760件(累計)

素案P24

【基本方針 3】

協働の取組を広く情報発信し、市民活動が行いやすい環境をつくれます

【成果指標】・SNSのフォロワー数 R7 : 1,346人 → R12 : 2,100人 → R12 : 1,678,000
・市民協働に関する市ホームページの閲覧数 R7 : 207,376 → R12 : 1,678,000 (累計) 2

素案P18～P20

【基本施策 1】

- 1 市民活動団体等への支援
- 2 地域コミュニティ活動の活性化
- 3 若者の人材育成と企業等の参画

素案P21～P23

【基本施策 2】

- 1 協働するための環境の提供
- 2 コーディネート力の強化
- 3 協働を支える組織力の強化

素案P24,P25

【基本施策 3】

- 1 協働に関する普及・啓発
- 2 市民活動団体等や優れた取組の情報発信

第3次岡山市協働推進計画（素案）概要

□ スケジュール

	令和7年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
次期岡山市協働推進計画				● 骨子案				● 素案		● 案		
岡山市協働推進委員会	● 第1回 (4/11)				● 第2回 (8/6)			● 第3回 (11/18)		● 第4回		
市民		● ワークショップ (5/26)							パブ コメ			
市民協働推進本部							意見 照会					
常任委員会						● 8月20日		● 11月19日		● 1月26日		

第 10 回協働のまちづくり賞大賞・入賞取組の決定

【大賞・入賞の決定の流れ】

- ① 書面採点による協働推進委員の採点平均点、及びインターネット投票の上位 3 取組に 5 点を加えた合計点数の上位 5 取組を大賞・入賞取組候補とする。
- ② 各グループで候補取組について、意見交換後、全体で意見交換し、大賞・入賞を決定する。
もし、決まらなければ、無記名による投票により、大賞を決定

大賞・_____

入賞・_____

・_____

・_____

・_____

「おかやま協働のまちづくり賞」実施経過

回次	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回
年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
募集 テーマ	「笑顔」と「場づくり」	「楽しんで年を重ねられる社会のために」	「やりがいと豊かな暮らし」	「すべての人に健康と優しさを」	「地域と食と未来」	「「ごみ」を減らし、「資源」で生かす」	「伝統・文化で育む、コミュニティと郷土愛 ～コロナ禍でも取り組みを止めない～」	「災害に強いまちづくり ～誰も取り残されないやさしい地域を目指して～」	「外国人と共につくる、暮らしやすい地域」
			(SDGs8, 11)	(SDGs3)	(SDGs12)	(SDGs12)	(SDGs11)	(SDGs10, 11)	(SDGs10, 17)
応募 取組	2 0 取組	1 3 取組	9 取組	9 取組	1 4 取組	8 取組	9 取組	1 0 取組	9 取組
大賞	NPO法人 ポケットサポート	養護老人ホーム 岡山市会陽の里	助け合うお母さんの会	なかまちーず	牟佐町内会	瀬戸内かきがらアグリ 推進協議会	建部町伝統芸能伝 承保存会	千種学区防災会	The World Kitchen 実行委員会
入賞	宇野小学校放課後 子ども 教室実行委員会	高野尻村をつくる 会	NPO法人 ひよこ子ども食堂	地域包括ケアみつ ネット	モモタク運営協議 会	NPO法人タブララサ	千種学区まちづく り協議会	公益社団法人日本 技術士会中国本部 岡山県支部	モモタク運営協議 会
	NPO法人 岡山市子どもセン ター	NPO法人岡山聴 覚障害者支援セン ター	岡山市北区京山地区 E S D 推進協議 会	おかえりこども食 堂	フード・シェアリ ング・ジャパン	津高台町内会	旭竜学区安全・安 心ネットワーク	出石地区自主防災 会連合会	みつ元気プロジェ クト
	さいさいサポー ター	NPO法人子ども たちと共に学ぶ教 室シニアスクール	NPO法人 岡山ニャンとかし 隊	とみやま助け合い 隊	更生保護施設等支 援協議会	岡山大学環境部 ECOLO	NPO法人 岡山市子どもセン ター	岡山県立岡山一宮 高等学校	INE（居場所づくり ネットワーク）
	よこいゆめくらぶ	岡山市立岡山後楽 館高校	よつばの会	竜之口学区コミュ ニティ 協議会	長尾町内会	アグリドリームS E T O	漱石ロード活性化 委員会	特定非営利活動法 人輝くママ支援 ネットワークぱら ママ	IPU環太平洋大学 サステナブルプラ ンドプロジェクト